

# 要 望 書

ビーチバレーボールコートの新設について

松本市長	臥雲	義尚	様
大町市長	牛越	徹	様
塩尻市長	小口	利幸	様
安曇野市長	宮澤	宗弘	様

## 中信4市スポーツ協会・体育協会協議会

会 長	一般財団法人松本市スポーツ協会会長	臥雲 義尚
副会長	大町市体育協会会長	島田 剛志
副会長	特定非営利活動法人塩尻市体育協会会長	丸山 智之
副会長	特定非営利活動法人安曇野市体育協会会長	赤羽 高明

秋涼の候、貴職におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より市民のスポーツ振興に対しましてご尽力を賜り、深く感謝を申し上げます。

さて、ビーチバレーボールの中学生全国大会が、毎年松本市の姉妹都市藤沢市で開催されており、中信地区の中学校が長野県予選を勝ち抜いて出場をしています。しかし練習会場が駒ヶ根市と遠く、十分な練習回数と時間を確保する事ができない状況です。また令和元年度茨城国体へは中信地区の高校の女子選手ペアが出場し、また愛媛・新潟県などで行われた全国大会・ブロック大会へは県代表として中信地区の高校の女子選手2ペア（4名）が出場しています。しかしながら、中学生同様に駒ヶ根市や山梨県内コートでの練習を余儀なくされています。長野県ビーチバレーボール連盟も松本市に拠点を置いていることも併せまして、松本平広域公園内等にビーチバレーボールコートの新設を強く要望するものです。少子化時代の中学校、高等学校の部活動では、バレーボールの構成人員が集まらず、バレーボールに親しみたい生徒があきらめざるを得ない例もありますが、ビーチバレーボールのチーム構成は2名（中学生

は4名)と参加しやすく、普及が望まれます。

併せまして、青少年及び成人の体力維持向上を図るために最適な種目のひとつであるため、生涯スポーツ種目としても参加しやすいビーチバレーボールの普及は、国が地方自治体に求めるスポーツ実施率の向上に大きく寄与するものです。

また、当該種目は、オリンピックをはじめ国際的にポピュラーな種目であるため、国と地域を超えた交流を図る事ができ、「するスポーツ」、「見るスポーツ」、「支援するスポーツ」として、今後県民に広く普及をはかる事ができる種目です。

長野県バレーボール協会は、第82回国民スポーツ大会に向け、選手強化を図って行く計画です。また、長野国体のビーチバレーボール会場は、南信高森町への設置が第3次で選定されておりますが、同協会はジュニア層(中学・高校)への普及と振興を図るために、また本格的な強化拠点とも考えており、全県から集まりやすい時間的距離において最適である松本市内への設置を、長野県教育委員会に要望しております。

また、県外からの交流人口の増加に伴う信州まつもと空港の利用者増を含め、経済的な恩恵は中信地域をはじめ、長野県内に生じる効果が期待できます。

よって、松本市、大町市、塩尻市、安曇野市の各市長におかれましては、松本平広域公園内等に最低2面以上のビーチバレーボールコートの新設を、長野県及び長野県教育委員会に働きかけていただきますよう強く要望を申し上げます。

令和      年      月      日

一般財団法人松本市スポーツ協会会長      臥雲 義尚      印

大町市体育協会会長      島田 剛志      印

特定非営利活動法人塩尻市体育協会会長      丸山 智之      印

特定非営利活動法人安曇野市体育協会会長      赤羽 高明      印